

カナダ・ケベック州, オカ鉱床

＜村上 浩康・石原 舜三＞



1. オカ鉱床位置図. オカ鉱床はカナダケベック州モンリオール近郊に位置している.



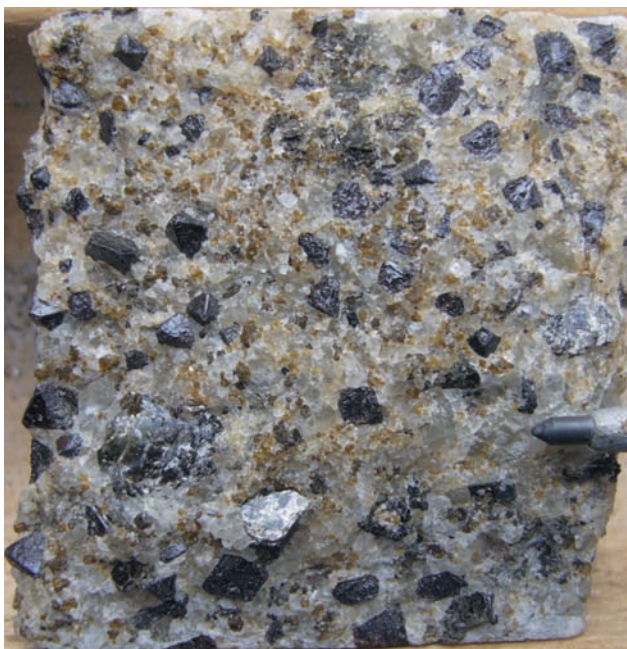
2. オカ鉱床露天採掘跡. オカ鉱床は、アルカリ岩類に伴うカーボナタイト鉱床である。1961年から1971年の間に、Nb, 希土類元素及びTh精鉱を生産していた。現在、この露天採掘場跡の外側に発達するカーボナタイトを対象として、Nbの探鉱が継続中である。
3. オカ鉱床ズリたい積場. オカ鉱床で採掘されていたNbは、主にカーボナタイト中のパイロクロアに由来している。オカ鉱床の巡検では、参加者はその綺麗な結晶で知られるパイロクロアを探すことに心血を注ぐ。



4. オカ鉱床周辺部でボーリングによるNbの探鉱を実施する Niocan Inc.が管理しているコア倉庫.



5. カーボナタイトのボーリングコア. 粗粒の炭酸塩鉱物(方解石または sovite)は白色を呈し, Naに富むエジリン輝石, フログパイト, アパタイト, ネフェリン, モンチセリ橄欖石, パイロクロアなどを含む部分は小豆色から黒色を呈している.



6. 代表的なカーボナタイトのコア. 左の写真は, 八面体結晶の半透明黒色のパイロクロアを特徴的に含む部分, フログパイトの板状斑晶も認められる, 右の写真は, オリーブ色のアパタイト, 黒色の輝石やフログパイトに富む部分.